

案件3 彼方上地区における既存タクシーを活用した実証実験後の経過報告

令和8年度 第3回
富田林市交通会議 資料3-1

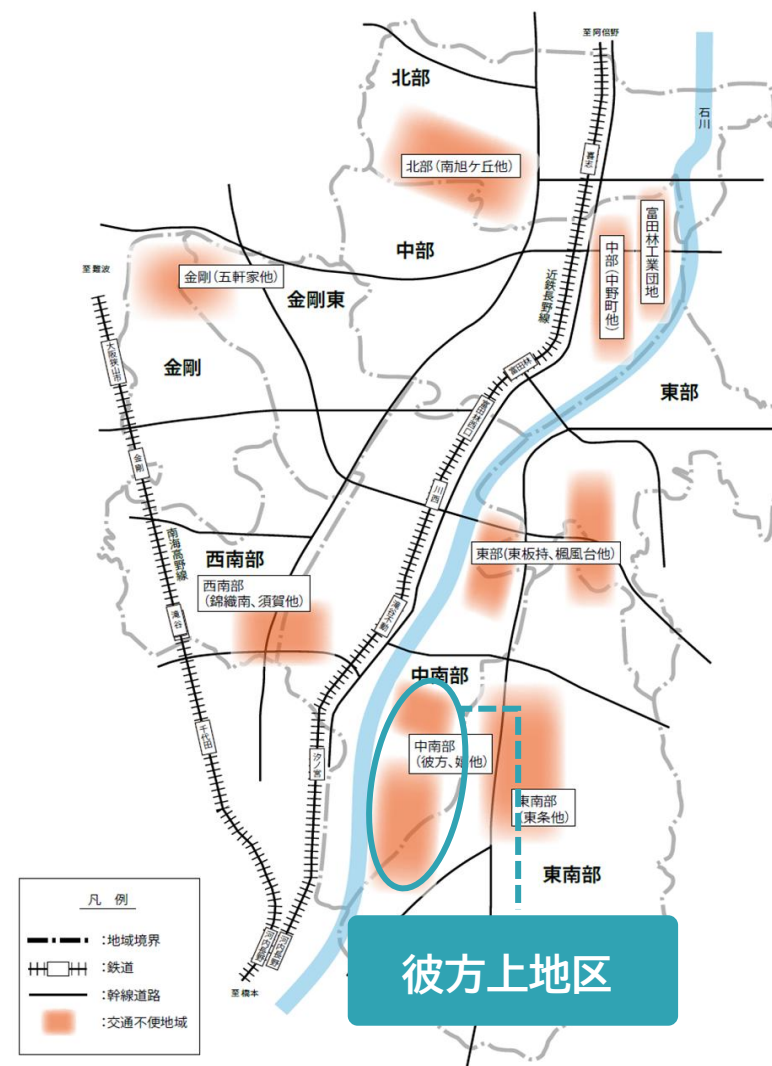
目次

- 1 彼方上地区とは
- 2 これまでの経過
- 3 アンケート結果(速報)

1 彼方上地区とは

- ✓ 主催:彼方上7町会まちづくり協議会
- ✓ 活動地域:彼方上7町会(富田林市大字嬉、横山、伏見堂)
- ✓ 人口:1,306人(令和8年3月時点。以下同じ。)
- ✓ 世帯数:686世帯 高齢化率(※):43.4%
- ✓ 地域の特徴:高齢化により、移動困難者が増えている。
また、坂道や狭い道が多く、徒歩移動が困難な方が増えている。

※高齢化率:地域の人口に対する65歳以上の高齢者が占める割合



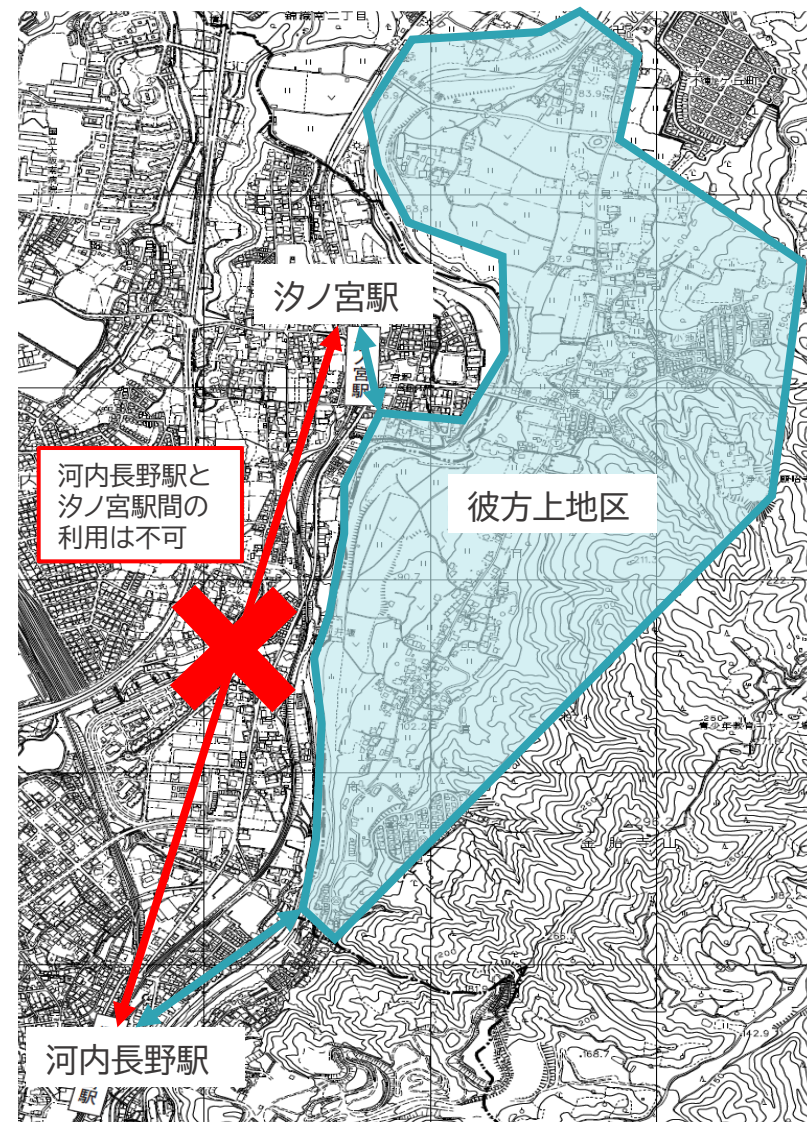
2 これまでの経過

平成30年	4月 6月～12月	公共交通の検討を開始 第1回・第2回ワークショップ
平成31年	4月	住民アンケートの実施
令和2年	1月	第3回ワークショップ、その後コロナ禍により検討を休止
令和3年	10月 12月	休止していた公共交通の検討を再開 地域による運行計画(案)の検討
令和4年	7月 11月1日	富田林市交通会議による実証運行の承認 彼方上地区地域公共交通「上セブン号」第1回実証運行(12月28日まで)
令和5年	3月 8月	実証運行後の住民アンケートの実施 勉強会の開催
令和6年	3月～5月 9月 11月	第2回実証運行の計画案及び利用促進策について協議 既存のタクシーを活用した実証実験の実施を決定 富田林市交通会議で既存のタクシーを活用した実証実験(案)の承認
令和7年	～10月 10月15日～ 12月14日	実証実験の開始に向け、機運醸成策の検討、及び実施 既存のタクシーを活用した実証実験を実施
令和8年	5月～7月	実証実験後のアンケート調査を実施

2 これまでの経過

既存タクシーを活用した実証実験の概要は、以下のとおりである。

項目	内容
利用対象者	彼方上地区の住民及び彼方上地区へ来訪される方でタクシー券をお持ちの方
適用エリア	河内長野駅または汐ノ宮駅と彼方上地区との相互区間及び彼方上地区内を発着とする場合のみ適用
期 間	令和7年10月15日(水)から12月14日(日)までの2か月間
時 間	期間中毎日、午前9時～午後5時
料 金 (利用者負担額)	1人につき、大人300円(障がい者・小児は半額)



実証実験エリア

3 アンケート結果(速報)

■ 実施内容及び回答件数

【調査期間】

令和8年5月下旬から7月上旬まで。

【回答方法】

紙媒体及びインターネット

【回答件数】

紙媒体 335件＋ インターネット 135件 ＝ 合計470件

※詳細な分析については、今後の交通会議において報告予定である。



3 アンケート結果(速報)

アンケート結果を抜粋、その他の結果は資料3-2「彼方上地区における既存タクシーを活用した実証実験後のアンケート結果(速報値)」を参照

■ 回答者属性(年代)

回答者は60代から80代以上が全体の約7割を占める結果となった。

■ 利用頻度

利用頻度は「月に数回程度のみ」が最も多く、次いで「1回のみ」、「週に1回程度」の順となった。

■ 利用目的

利用目的は「通院」が最も多く、次いで「銀行、郵便局、市役所などへの手続きなど」、「レジャー・会食」、「買い物」が多く、日常生活における移動での利用が中心であった。

■ 地区内から河内長野駅への移動手段

地区内から河内長野駅への移動手段は、「実証実験タクシー(予約)」が最も多かった一方、徒歩や自家用車(自分で運転)、家族・知人による送迎も一定数みられた。

※実証実験の内、河内長野駅から地区内への利用が全体の約72%を占めていたことから、往路となる地区内から河内長野駅への移動手段を把握するために実施した設問である。